

## 自己評価結果公表について

### 放課後等デイサービスRaise

「自己評価結果公表の7つの項目」についての会議を行いましたので、以下その内容を公表いたします

会議日：令和6年1月15日

公表日：令和6年2月28日

	検討事項	会議内容
①	利用する障がい児及びその保護者の意向、障がい児の特性、障がい特性、その他の事情を踏まえた支援を提供するための体制の設備の状況について	登録人数：37名 1日の利用人数：平均約13名 保護者の意向については、契約や見学時にアセスメント、聞き取りを行い、常時ラインや電話、面談にて情報交換を行いながら、個別支援計画を作成しています。
②	従業員の勤務の体制及び、資質の向上のために取り組みの状況について	常勤職員5名、非常勤職員2名の7人体制。 社内研修及び、グループ内の事業所で集まった研修を行うことにより、職員一人一人の能力を伸ばしていく取り組みを行っています
③	事業の用を共する設備及び、備品等の状況	活動内容ごとに使用する部屋を分けています。活動で使用する物品等も定期的に新しいものを購入し、活動の幅を広げていっています。
④	関係機関及び地域との連携、交流等の取り組みの状況	年に1回、保護者会を行っています。 保護者同士で実際に顔を合わせることで情報共有や悩みを話し合える環境を作っています。担当者会議や、学校へのお迎えの際に近況を聞き取り、事業所と学校と保護者が一環となるよう連携を行っています。
⑤	利用する障がい児及びその保護者に対する必要な情報提供、助言その他の援助の実施状況	定期的な保護者面談とラインや電話での相談を受け付けています。 日々の活動の中での様子をお伝えし、家庭の状況の聞き取りを行い、それに伴う助言を行っており、個別支援記録として毎日記録しているものを必ず月に一度保護者へお渡ししています
⑥	緊急時における対応方法及び非常災害対策	年に1回ずつ、防犯・防災訓練を職員のみ、施設内で行っています。 お子さんたちにも日常の中で、緊急時の対応を話しており、職員間でも話し合いを行い、訓練を実施し、次回への課題を見つけ改善していくことを繰り返し行っています
⑦	業務の改善を図るための措置の実施状況	役割分担を明確にし、業務が円滑に進むよう工夫しています。 SNSやPCを使用し、日々の活動の様子も伝えながら、直接支援業務に力を入れられるよう職員間で話し合いを重ね、常に改善を行っています。

## まとめ

検討結果	現在取り組みを行っている中で、円滑に進んでいるものと、課題があるものを明確にし、職員間で話し合える環境づくりを行っていく。
自己評価	活動ごとに職員の役割分担を行っているため、お子さんの成長も評価しやすく、次につながる療育を行えている。活動ごとの目標、それに伴うお子さんの個人目標を全員が共通認識として持ち、療育を行っているため、自然と職員間で情報共有ができています。お子さんに対するアプローチや関わり方を増やしていけるよう、継続して話し合いを行っていく。
改善目標	職員の知識や経験を増やすことが必要。 お子さんたちの「楽しい」に繋がるよう、できることを少しずつ増やしていけるよう療育に取り組んでいく。進学等も視野に入れながら、保護者と連携を取り目標を明確にしていく。